

## 2022年3月期（第204期）第3四半期決算について

2022年1月31日

大阪ガス株式会社

### 1. 経営成績（2021年4月1日～2021年12月31日）

#### (1) 決算の概要

当第3四半期の売上高は、国内エネルギー事業でのLNG価格の上昇などによる増収や、海外エネルギー事業における米国上流事業やフリーポートLNGプロジェクトでの増収などにより、前年同期に比べて808億円増の1兆437億円となりました。経常利益は、海外エネルギー事業は増益であったものの、国内エネルギー事業でのタイムラグ影響(\*)による利益減などにより、242億円減の572億円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、127億円減の448億円となりました。

(\*)原料価格の変動が販売単価に反映されるまでのタイムラグによる影響

[単位：億円]

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
連 結	10,437 (+ 8.4%) [9,628]	426 (△ 43.0%) [748]	572 (△ 29.8%) [815]	448 (△ 22.2%) [576]

[ ]内は前年同期実績、( )内は対前年同期増減率

#### (2) セグメント別概況

「国内エネルギー」のセグメント利益は、ガス事業でのタイムラグ影響による利益減などにより、減益となりました。「海外エネルギー」のセグメント利益は、フリーポートLNGプロジェクトや米国上流事業の利益貢献などにより、増益となりました。「ライフ&ビジネス ソリューション」のセグメント利益は、情報ソリューション事業における新型コロナウイルス感染症拡大の影響が緩和したことなどにより、増益となりました。

[単位：億円]

	売上高	セグメント損益(注)
国内エネルギー	8,686 (+ 6.7%) [8,145]	30 (△ 94.7%) [579]
海外エネルギー	559 (+ 73.2%) [323]	373 (+ 286.4%) [96]
ライフ&ビジネス ソリューション	1,633 (+ 5.8%) [1,543]	148 (+ 16.4%) [127]

(注) セグメント損益：営業損益+持分法投資損益 [ ]内は前年同期実績、( )内は対前年同期増減率

### (3) 国内ガス販売実績

ガス販売実績[45MJ/m<sup>3</sup>]は前年同期を下回りました。家庭用のガス販売量は、競合や春先の高気水温影響などにより、前年同期を下回りました。業務用等のガス販売量は、特定のお客さま先での設備稼働減などにより、前年同期を下回りました。

ガス販売量（百万m <sup>3</sup> ）	4,841（△ 1.2%）
家庭用	1,046（△ 4.1%）
業務用等	3,795（△ 0.4%）
ガス供給件数（千件）	4,928（△ 2.8%）

（）内は対前年同期増減率

### (4) 国内電力販売実績

国内の電力販売量は、小売と卸等がともに増加し、前年同期を上回りました。

電力販売量（百万kWh）	11,983（+ 4.8%）
小売	4,294（+ 9.7%）
卸等	7,689（+ 2.2%）
低圧電気供給件数（千件）	1,592（+ 7.9%）

（）内は対前年同期増減率

## 2. 当期（2022年3月期）の業績予想

最近の業績動向などを踏まえた結果、2022年3月期の業績予想に変動が生じることになったため、業績予想を修正します。

#### 【今回業績予想】

[単位：億円]

	連 結
売上高	15,470（+13.4%）
営業利益	805（△28.4%）
経常利益	950（△25.6%）
親会社株主に帰属する当期純利益	775（△ 4.2%）

（）内は対前期増減率

(参考) 今回業績予想における原油価格・為替レート的前提

	第3四半期累計実績	第4四半期予想	年間平均
原油価格(全日本CIF価格) ドル/バレル	74.0	85.0	76.7
為替レート(TTM) 円/ドル	111.1	115.0	112.1

#### 【前回業績予想（2021年7月29日公表）】

[単位：億円]

	連 結
売上高	15,100（+10.7%）
営業利益	805（△28.4%）
経常利益	950（△25.6%）
親会社株主に帰属する当期純利益	705（△12.8%）

（）内は対前期増減率

以 上